

射水市立小杉小学校活動報告

◆活動取組の紹介

①「地下道の清掃」

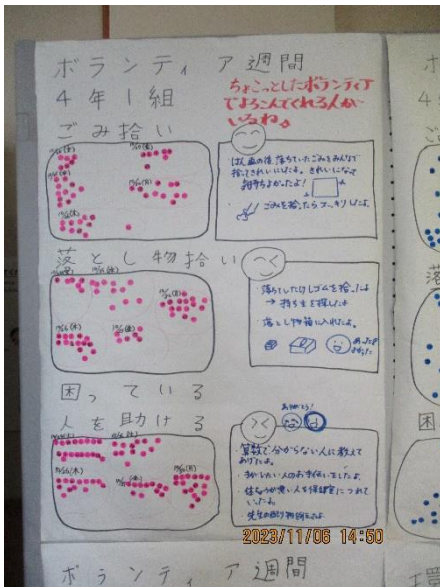
委員会の時間を使って、1年間に3回、学校前のアンダーパスの清掃活動を行った。たまっていた砂や落ち葉、石、お菓子の袋やマスク等を拾ってきれいにした。

②「ボランティア週間」

全校児童にボランティアとは何かを知らせ、ちょっとしたボランティアに取り組むことを呼びかけた。クラスごとに掲示物を用意して、取り組んだ際にシールを貼り、ボランティア週間が終わったら、クラスの掲示物を玄関前に貼って取組の成果を共有した。

③「書き損じハガキ回収・募金活動」

11月には「赤い羽根共同募金」、1月には「書き損じハガキ回収」、2月には「能登半島地震募金」を行った。どの活動でも、集められた募金やハガキがどのように使われるのかを放送で知らせ、助け合いの心をもつことの大切さを呼びかけた。能登半島地震募金では、ボランティア委員会の子供たちが玄関前に立ち、直接募金を集めたことで、協力してくれた人との心のつながりを感じることができた。



【②各クラスでのボランティアの取組】



【①隅々まで清掃している様子】



【③能登半島地震の募金活動】

◆活動してやりがいや喜びを感じる時

【児童の感想】

- ・災害に遭われた方のために募金を呼びかけると、たくさんの人が協力してくれて、うれしかったです。
- ・学校の前の地下道に砂や落ち葉がたくさん落ちていました。みんなで一生懸命掃除をして、きれいになり、とても気持ちよかったです。

児童の感想から、自分たちの活動が他の児童や地域や社会の役に立っているという充実感を感じていることが分かった。

◆最後に一言

自分ができるとすると誰かの役に立つというボランティア精神を大切に委員会活動に取り組んだ。来年も色々な機会を通して、ボランティア活動に取り組めるようにしていきたい。